

大分大学トピックス

教員就職率及び正規教員就職率で 3年連続全国1位!

文部科学省が発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の大学別就職状況」の、令和4年3月卒業生の教員就職率(正規+臨時)及び正規教員就職率において、大分大学が3年連続全国1位となりました。

これは、文部科学省が国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)44大学・学部の大学別就職状況を調査し毎年発表するもので、本学教育学部は、教員就職率(75.5%)及び正規教員就職率(65.5%)が、令和2年3月、令和3年3月卒業生に引き続き、全国の国立教員養成系学部・大学の中で全国1位となりました。

また、平成28年3月から令和4年3月までの7年間の平均でも、教員就職率が73.0%(全国平均58.9%)、正規教員就職率が58.8%(全国平均41.0%)となり、ともに全国1位で、本学教育学部は、安定して全国トップの教員就職率を維持しています。

令和4年3月卒業生の大学別正規教員就職状況 (教員養成課程)上位5大学

卒業生に対する教員就職率 (正規+臨時)		卒業生に対する正規教員就職率*	
1	大分 (75.5%)	1	大分 (65.5%)
2	福岡教育 (72.4%)	2	長崎 (59.1%)
3	広島 (70.4%)	3	福岡教育 (58.1%)
4	愛知教育 (68.7%)	4	広島 (57.9%)
5	長崎 (67.7%)	5	愛媛・上越教育 (57.2%)

*R4年公表文部科学省報道発表資料より算出

医学科西田昌弘さんが筆頭著者の論文が 国際学術誌Communications Biologyに 掲載されました

医学部医学科5年の西田昌弘さんが、教育プログラムで実施した研究内容を発表した論文が、国際学術誌である「Communications Biology」に掲載されました。

理工系、医学系では、学部で知識を身に付け、大学院で研究するというのが一般的なため、学部学生が筆頭著者の論文が国際学術誌に掲載されることはほとんどありません。しかしながら、西田さんは筆頭著者として、国際学術誌に掲載されるという快挙を成し遂げました。西田さんは、2年生の終盤ごろから研究室に通い始め、約2年間にわたり地道な研究を行い、今回の成果に至りました。当該研究は、突然変異によって抗がん剤が効きにくくなる変異を獲得したがん細胞に対して駆除効果を発揮する物質を同定し、その薬理学的作用を解明したという基礎研究で、次世代の新薬の開発につながる重要な知見となることが期待されます。

11月28日には西田さんの功績に対して学長表彰が行われ、北野正剛学長より賞状と記念品が授与されました。コロナ禍で制限もある中、本学からも優秀な若手人材が着実に育っています。



大分大学同窓会連合会 機関紙 No.9

令和5年7月1日発行

[事務局]

大分大学研究推進部産学連携課内

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 TEL:097-554-7513/FAX:097-554-7740

E-mail:dosoren@oita-u.ac.jp HP:https://www.alumni.oita-u.ac.jp/

【巻頭言】“同心の結”

4年目にしようやく落ち着きを感じるようになってきました。いうまでもなく、専門家から「狡猾」と評された新型コロナ、その終息の気配のことです。段々に日常が戻ってきてはいるものの、マスク姿は日常の風景に溶け込んでいるようで、「羹に懲りて膾を吹く」ではありませんが、まだしばらくは少々の防備が要りそうです。

「狡猾」な病魔の禍を受けた過去3年間、本会でもまさに開店休業の体、計画の全てがまさに白紙に帰してしまいましたが、ようやく再開の期を迎えました。7同窓会会員各位には会員の交流・親睦を深めながら、母校の発展に協力すべくホームカミングデーをはじめとした各種企画の推進に向けて、心情一にして取り組んでいただけるよう懇請する次第です。母校では通常の講義・研究活動が再開されて、活々の気が漲っています。やがて本会の構成員に加わるであろう、学生諸君の励みにも大いに期待するところです。

「同心の言、其の臭い蘭の如し」(易経)というように、心の合った者どうしが親密に言葉を交わせば、蘭の花にも似た香しさが漂うと言います。学部の垣根を越え胸襟を開いた強い絆でそうした雰囲気が生起するよう、固く解けない結び方をいう「同心の結」を願うところです。一は多をもって成り(一即多)、多は一からなる(多即一)という訓えが本会の結束の原点であることに思いを寄せながら、会員諸氏のいっそうのご活躍を祈念いたします。

知の拠点である母校が時代の趨勢に応じ、地域に根差し世界を目指す学際的な力を益々発揮して、地域社会にも一層貢献されますよう期待して、巻頭の言といたします。

大分大学同窓会連合会会長 秦 政 博
(令和5年4月28日)



令和4年度 工学研究科の学生が 学会やシンポジウム等で各賞を受賞しました。

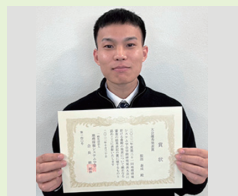
工学研究科の岡村さん、大久保さん、中原さんの3名が
若手優秀講演フェロー賞を受賞



(左から)岡村さん、大久保さん

中原さん

工学研究科の服部泰成さんが
地理情報システム学会
学術研究発表大会において
大会優秀発表賞を受賞



服部さん

工学研究科の岩崎諒太さんが
日本機械学会交通・物流部門
優秀論文講演表彰を受賞



賞状

大分大学同窓会連合会役員

役員名	氏 名	選出母体等
会 長	秦 政 博	豊友会会長
副会長	戸 高 孝	翔工学生会
理 事	秦 政 博	豊友会会長(教育学部)
	三 浦 洋 一	四極会会長(経済学部)
	高 倉 健	玉樹会会長(医学部医学科)
	廣 田 美 咲	桜樹会会長(医学部看護学科)
	戸 高 孝	翔工学生会(理工学部)
	安 東 千 秋	九峰会会長(福祉社会科学部)
	上 杉 奈 菜	福蓮会会長(福祉健康科学部)
監 事	廣 瀬 祐 宏	大分大学社会連携担当理事
	高 野 浩 子	四極会副会長
	松 尾 孝 美	翔工会副会長

顧問及び名誉会長

	氏 名	選出母体等
名誉会長	園 田 和 孝	元会長(元豊友会会長)
顧 問	北 野 正 剛	大分大学長

(令和5年6月1日現在)

大分大学ホームカミングデー2023(速報)



- 1 日 時 令和5年11月5日(日)14:00~18:30 学園祭も同時開催
2 会 場 第一大講義室および大分大学学生交流会館「B-Forêt」内特設会場
3 次 第 特別講演会 講師:佐藤 樹一郎 大分県知事
第1部 <交流会(B-Forêt A会場)> ・学長挨拶 ・同窓会連合会会長挨拶
・各学部等からの現状報告
第2部 <懇親会(B-Forêt B会場)> ・現役学生によるパフォーマンス
※3,000円の会費制 ・同窓生と各同窓会との相互交流

大分大学と同窓会連合会との地区別交流会2023 in北九州(速報)



- 1 日 時 令和5年12月16日(土)15:00~18:00
2 会 場 リーガロイヤルホテル小倉 北九州市小倉北区浅野2-14-2 (JR「小倉」駅より徒歩3分)
TEL 093-531-3390
3 次 第 第1部 <交流会> ・学長挨拶 ・同窓会連合会会長挨拶
・各学部長挨拶 ・同窓生代表者近況報告
第2部 <懇親会> ・同窓生と各同窓会との相互交流
※5,000円の会費制

※大学HPにて随時情報を更新していきます。

● 申込フォーム

「大分大学ホームカミングデー2023」および「大分大学と同窓会連合会との地区別交流会2023 in北九州」の申込用のQRコードになります。(スマートフォンのカメラ機能をご利用いただけます)参加を希望される方は令和5年10月4日(水)までに申込をお願いします。ご不明な点がありましたら、大分大学同窓会連合会事務局(097-554-7513)までお問い合わせください。



メールによる受信確認が必要な場合
(メールアドレスの入力要)



メールによる受信確認が不要な場合
(メールアドレスの入力不要)

◆ このごろ思うこと

「やって見せ、言って聞かせて、させて見せ、褒めてやらねば人は動かじ」大学の志賀史光先生(化学:元大分大学長)の教訓である。

昭和37年に大分大学学芸学部(現教育学部)の中学校課程理科を卒業後、大分県速見郡日出町の南端中学校に採用され、4年後は竹田津中学校、伊美中学校、熊毛中学校3校が統合し、全校生徒630名の国見中学校に異動した。その後も数校に勤務したが、常に志賀先生の指導であった「やって見せ…」を体現してきた。

大分県国東市も高齢化と人口減少で児童生徒が激減しており、以前に勤務していた国見中学校は令和5年度は52名になった。

豊友会の仲間では校長経験者が毎年、国東市内の小・中学校を訪問して、校長から教育方針や学校の現状等を伺い意見交換をしているが、どの学校も子どもの減少は大きな課題である。

昨年(令和4年)9月に大分大学で広瀬知事の特別講演会を拝聴した。知事の講演中でも、「今後の人口減、とりわけ若い層が極端に減少することを受け入れなければならない。今こそ、年代に関係なく老若全員で協力して工夫していくことが重要」と強調されていた。

豊友会としても、児童・生徒の増加の一助となるべく活動していきたいと思っている。

豊友会副会長 藤原 雅章(昭和37年卒)



豊友会 (教育学部)

◆ 四極会本部 新体制がスタート

令和4年6月26日第10代四極会会長に三浦洋一(大24回)が就任。令和4年10月1日四極会事務局長に大島英明(大24回)が就任。令和5年4月1日四極会事務局次長に阿部通正(大26回)が就任とここ1年の間に四極会本部のメンバーが一新しました。

これを契機に三浦会長のもと、現役学生を取り込んだ四極会組織の活性化を目指して新体制をスタートさせています。

まず四極会の存在を現役学生に認知してもらうために、四極会と現役学生との関わりを表示したリーフレットを作成し、四極会の由来、四極会支部一覧表と共に新入生に配布しました。また、現役学生が新たに事業をスタートアップしたり社会貢献活動をする際には簡単な審査で四極会から助成する仕組みも作るようにしています。今まで行ってきた就職支援や卒業生が学生の為に講義を行う寄附講義「社会研究」等も継続して実施していきます。今後も新会長のもと新たな施策を展開していく予定です。

四極会事務局 大島 英明

四極会 (経済学部)



◆ 共生の時代へ

2020年1月に中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、本年5月から「5類感染症」に位置づけられることが決定されました。確認されて3年余り、個人的には、まだワクチン接種前の2021年1月に前任病院にて病棟クラスターを経験し、戦々恐々としながらその制御に奔走したこと、2022年8月にはCOVID-19に罹患した患者さんから自分自身が感染し、医療業務に支障をきたすなど苦い経験もしました。

この3年間に卒業された学生さんにおいては大学生活において様々な制約を受け、また玉樹会同窓生はもとより各同窓会の皆様方におかれましては、医療機関や高齢者施設等の現場をはじめ、各種機関において感染制御に奔走され、感染拡大の波を乗り越えてこられたことと思います。

COVID-19は制御から共生の時代を迎えますが、コロナ禍に経験した新たな生活様式は、本同窓会においても総会の開催形式や支部活動などにおいて色々で見直す良い機会を得ることができたと思います。

医学部医学科は、第1期生が1984年に卒業以来、今年で早や40年、第40期生の卒業を迎えました。また医学部には令和5(2023)年4月に新たに先進医療科学科が設置され、多職種連携や先進領域を理解し、他領域の知識を習得、医療マネジメントについて学ぶハイレベルな臨床検査技師や臨床工学技士の指導者が養成されることとなります。

将来的には、また新たな同窓会が誕生することになりますが、コロナ禍でより連携を強めた大分大学同窓会連合会の活動が、これまで以上に益々活発になることを祈念しています。

大分市医師会立アルメイダ病院 呼吸器外科 三浦 隆(医学部 第5期生1988年卒)

◆ 世代交代しました!

令和4年8月の桜樹会総会において、同窓会長の任務を終えました。17年に渡り、第2代同窓会長として活動させていただきました。その間、この同窓会連合会が設立し、歴代の各同窓会長の皆さま、理事の皆様本当に支えていただきました。心より感謝申し上げます。思い返しますと、四極会の支部総会での鏡開き、玉樹会と合同同窓会、福岡や熊本での地区別同窓会への参加、そして、経済界や教育界の方など、普段直接お話する機会の少ない方との交流も多くありました。看護学科の同窓生だけでなく、これほど多くの同窓生とつながりがあるこの同窓会連合会は、とても貴重な存在だと思っています。これからも今まで以上に同窓生の絆をつなぐ会であってほしいと願っています。

桜樹会は、12期生の廣田美咲会長になり、世代交代しました。3人の子育てと仕事をしながらパワフルに活動してくれるものと期待しています。若い力と柔軟な発想力で、桜樹会の活動を盛り上げてくれることでしょう。

会員の多くは、この3年間、看護職としてCOVID-19対応に追われる日々でしたが、この経験による成長を共有し、さらに絆を深めていきたいと思っています。

桜樹会理事 古田 佳代子(1期生)

桜樹会 (医学部看護学科)

◆ 理工学部創立50周年記念と次の50年を担う後輩支援

理工学部は、昭和47年に国内最後の国立大学工学部としてスタートし、昨年令和4年5月で50周年を迎えました。令和4年10月18日(火)に創立50周年記念式典と記念講演会がレンブラントホテル大分の二豊の間で開催され、記念式典では、北野学長の式辞に続き、来賓祝辞(池田文科省高等教育局長<オンライン>、広瀬知事、佐藤市長<代読>、小手川工業連合会会長)があり、これを受けて越智学部長と同窓会長の挨拶がありました。祝賀会は当初予定されておりましたが、残念ながら新型コロナの感染拡大のため中止になりました。その後、休憩を挟んで記念講演会が開催されました。講師は相田卓三氏(東京大学卓越教授)で、演題は「研究者人生を選んだ理由とこれまでを振り返って」でした。相田教授は佐伯市出身(上野丘高校卒業)で、近年ノーベル賞の候補に何度も選ばれている超分子科学の先駆者です。最後に、越智学部長よりお礼のご挨拶があり幕を閉じました。

すでに1期生は古希を迎えられたこととなりますが、50年はあっという間で、この間科学技術の発展はすさまじく、翔工会では次の50年を担う後輩への支援を充実させることを計画して、その内容の検討を開始しました。記念式典ならびに記念講演会は大分大学のホームページ(下記URL)より動画配信されています。

<https://www.st.oita-u.ac.jp/ceremony/ceremony.html>

翔工会 (理工学部)



創立50周年記念式典会場風景

翔工会会長 戸高 孝

◆ 交流できる場の構築に向けて

福祉健康科学部では、本年3月に4期生が卒業いたしました。4期生は大学生生活の多くを新型コロナウイルスの影響を受けた学年となります。ようやく大学生生活に慣れてきたところで、授業のほとんどがオンライン授業となりました。大学に行かずとも、オンラインで学ぶことができるというのは魅力的ではあったと思いますが、その一方で、一緒に学びを共にする仲間を再認識した学年でもあったのではないのでしょうか。また、日常生活も制限され、前例のないことばかりを経験し、たくさんの困難があったはずですが、それでも歴史をつくりつつ、逆境を乗り越えて、この度卒業いたしました。

福蓮会といたしましても、設立時から新型コロナウイルスの影響を受け、なかなか活動できずにいました。最近では、コロナ禍にも好転の兆しがあり、少しずつ活動を進めることができいております。昨今のコロナ禍で縦の繋がりも横の繋がりも交流できていなかった世代の方々が、再び集まり、交流できるような拠り所をつくれればとの思いです。まだまだ発展途上ではありますが、今後とも福蓮会をよろしく願っています。

監事 野口 千尋

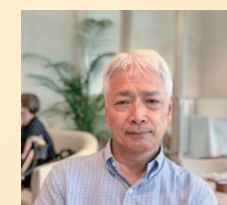
福蓮会 (福祉健康科学部)

◆ 仕事と学びの両立の中で

福祉社会科学研究科の修了生は多くが医療や福祉の現場で日々患者や福祉サービス利用者の支援を展開しています。九峰会では、現場のソーシャルワーカーに対して大学院での研究を積極的に勤めてきました。平成30年度には本会の会員である職場の先輩に勧められたというソーシャルワーカーが新たに入学しています。以下、修了しての感想です。

私は医療相談員をしていますが、MSWの役割や専門性を言語化して伝えることができず悩んでいました。そのことを先輩に相談すると「大学院で大きな学びを得ており、とても有意義だった」と勤めてくれました。入学後は夜間の講義が中心で修了まで無理のないスケジュールでした。また、講義やゼミではとても刺激を受けましたし、先生方の丁寧なご指導のおかげで無事に修士論文も書き終えることができました。修了後は新たな経験もでき、私のソーシャルワーカー人生においても活動の幅が広がったと思っていますとのことでした。

九峰会 安東 千秋 / 大庭 江梨奈



大分大学経済学部創立100周年記念式典・記念講演会を開催

大分大学経済学部は、1922年(大正11年)に全国で8番目の官立高等商業学校である大分高等商業学校として設置され、1944年(昭和19年)に大分経済専門学校、1949年(昭和24年)に大分大学経済学部となり、今年で100周年を迎え、6月25日に大分市のiichiko音の泉ホールにおいて、記念式典・記念講演会を開催しました。



大分大学理工学部創立50周年記念式典・記念講演会を開催

大分大学理工学部は、10月18日に大分市のレンブラントホテル大分において、創立50周年記念式典・記念講演会を開催しました。理工学部は、昭和47年5月に工学部として創立以来、平成29年4月に理工学部となり、今年創立50周年という節目の年を迎えました。

